

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	毛谷集落大井手水路復旧工事	智頭町	1,640,100	1,500,000	

II. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称			
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	毛谷集落大井手水路復旧工事			
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		智頭町			
交付金事業実施場所	鳥取県八頭郡智頭町大字郷原地内				
交付金事業の概要	<p>当該地大井手水路は千代川から毛谷集落内に水を引き入れており、農業用水路のほか消防水利としても利用されている、生活の基盤となる水路です。しかし、同水路は本町でも水田や山林に大きな被害をもたらした平成30年豪雨によって暗渠内部が崩落し、水路としての利用が難しくなっている状態でした。また、集落内の水田は同水路より水を引き入れているため、営農にも支障をきたしています。現在は谷より水を引いて営農・消防水利の確保を行っておりますが、水路周囲は現在まで露出したままとなっており再び崩落する恐れがあり、安定した供給を得るためにも、本事業により水路の復旧工事を行い、住民が安心して生活できるよう水利機能の改善を目指します。</p>				
交付金事業に関係する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>水路の復旧工事の実施により、水路を利用している世帯の生活における安心・安全を保障します。また、本事業によって水路を整備することにより、周辺住民の発電事業に対する理解が得られます。 目標：水路を利用している世帯にアンケートを行い事業前後における住民の満足度を調査し、9割以上が満足</p>				
事業開始年度	令和4年度	事業終了（予定）年度		令和4年度	
事業期間の設定理由					
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標		評価年度	令和4年度
	住民の満足度 90%以上	満足度：やや満足以上の回答をした者÷回答者数×100	成果実績	92	
			目標値	90	
			達成度	102	
	評価年度の設定理由				
事業完了後速やかに評価することにより、事業改善を図るため 交付金事業の定性的な成果及び評価等					

暗渠内部が崩落し、水路としての利用が難しくなっていました。工事を行ったことで水利機能が改善し、集落内へ流れ込む水の量が大きく改善され、住民からの満足度も十分に得られました。今後も地元住民からの要望に応え、有効かつ厳正な電源立地地域対策交付金の運用を続けていきます。

評価に係る第三者機関等の活用の有無

無

交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	年度	年度	
	排水構造物工 現場打堤外水路	活動実績		m	31		
		活動見込		m	31		
		達成度		%	100		
交付金事業の総事業費等		令和4年度	年度	年度	備考		
総事業費		1,640,100					
交付金充当額		1,500,000					
うち文部科学省分							
うち経済産業省分		1,500,000					
交付金事業の契約の概要							
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額	
水路復旧工事		指名競争入札		株式会社久本管工 (智頭町)		1,640,100円	
交付金事業の担当課室		企画課					
交付金事業の評価課室		企画課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八河谷集落舗装 グルーピング工事	智頭町	2,365,000	2,365,000	

II. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称		
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	八河谷集落舗装グルーピング工事		
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		智頭町		
交付金事業実施場所	鳥取県八頭郡智頭町大字八河谷地内			
交付金事業の概要	<p>本町は、毎年1月～2月頃には1日30cmの降雪を記録する等県内有数の豪雪地帯です。中でも山間部に位置する八河谷集落は、平成29年の豪雪の際には7世帯が孤立し、本年の冬期についても2mを越える積雪を記録するなど、町内で最も積雪の多い地域です。</p> <p>住宅沿いに狭い坂道が蛇行を繰り返す同集落では、大型の除雪車などが除雪作業をすることはできず、積雪対策としては融雪が最も適しています。そこで、住民は水路に堰板を入れ水をオーバーフローさせることで道路の融雪を行ってきましたが、近年は道路のわだちが高くなり道路全体の融雪が難しくなっています。同集落では高齢化も進んでおり、積雪のある冬期の生活が年々不安視されています。こうした状況から、道路中央のわだちに数本の溝を削るグルーピング工事を施すことで、道路全体を融雪できるように改善し、冬期の住民生活の安心・安全を維持することを目指して本事業を実施します。</p> <p>（施工延長 L=325.5m グルーピング工 A=501m²）</p>			
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	<p>グルーピング工事の実施により、道路を利用している12世帯において積雪の多い冬期の生活における安心・安全を保証します。また、本事業によって道路を整備することにより、周辺住民の発電事業に対する理解が得られます。</p> <p>目標：道路を利用している世帯にアンケートを行い事業前後における住民の満足度を調査し、9割以上が満足</p>			
事業開始年度	令和4年度	事業終了年度	令和4年度	
事業期間の設定理由				
	成果目標	成果指標	評価年度	令和4年度
	住民の満足度 90%以上	満足度：やや満足以上の回答をした者÷回答者数×100	成果実績	80
			目標値	90
			達成度	88
	評価年度の設定理由			
	事業完了後速やかに評価することにより、事業改善を図るため			

交付金事業の成果目標及び成果実績	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
	<p>施工後、12月には降雪が始まり、グルーピング工事が有効に作用し、住民達からも一定の満足度を得られました。一方で、町内で倒木や停電も多発した1月末の災害級のレベルの大雪に対しては満足にグルーピングが作用せず、昨今の急激な積雪に対しては不安要素が残る結果となりました。この反省から、次年度以降についてはさらに入念な現地調査を行うこと、施工業者との協議を行い、町として対策を行っていきます。</p>					
	評価に係る第三者機関等の活用の有無					
	無					
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	年度	年度
	グルーピング工事	活動実績	m2	501		
		活動見込	m2	501		
		達成度	%	100%		
交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備考		
総事業費	2,365,000					
交付金充当額	2,365,000					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	2,365,000					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
道路舗装グルーピング工事		指名競争入札		株式会社久本管工 (智頭町)		2,365,000円
交付金事業の担当課室	智頭町役場企画課					
交付金事業の評価課室	智頭町役場企画課					

別紙

I. 事業評価総括表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称	交付金事業者名又は間接交付金事業者名	交付金事業に要した経費	交付金充当額	備考
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	智頭町防災備品整備事業	智頭町	598,400	598,400	

II. 事業評価個表（令和4年度）

（単位：円）

番号	措置名	交付金事業の名称
1	公共用施設に係る整備、維持補修又は維持運営等措置	智頭町防災備品整備事業
交付金事業者名又は間接交付金事業者名		智頭町
交付金事業実施場所	智頭町立智頭中学校（鳥取県八頭郡智頭町智頭） 智頭町勤労者体育センター（鳥取県八頭郡智頭町大字智頭） 智頭町総合センター（鳥取県八頭郡智頭町智頭） ひまわり会館（鳥取県八頭郡智頭町智頭）	
交付金事業の概要	<p>近年、日本全国で自然災害による被害は拡大し続けています。平成23年の東日本大震災、平成30年の西日本豪雨、令和2年の7月豪雨など、歴史上でもまれに見る大規模な地震や台風、集中豪雨による被害を中心に生活への影響は大きくなっています。本町においても、台風や集中豪雨等による自然災害が年々増加しており、特に平成30年の西日本豪雨では町内各地で甚大な被害が発生しました。町内を流れる千代川では護岸の崩壊、家屋の床下浸水の被害なども発生し、700人近くが避難所に身を寄せました。</p> <p>こうした状況もあり、平成30年以降本町では災害体制の整備に力を入れており、町民からの声や各施設の実態をもとに防災拠点の整備を進めています。その中で、体力が少ない高齢者を中心に避難所で安心して過ごすための簡易ベッドを望む意見が西日本豪雨発生時の避難者から寄せられており、実際に各避難所では該当物資の不足が見られたため、本町では簡易ベッドの整備を行ってきました。（昨年度電源立地交付金下期申請により83台整備）</p> <p>町指定避難所のうち、簡易ベッドが不足している4施設（智頭町立智頭中学校（体育館）、智頭町勤労者体育センター、智頭町総合センター及びひまわり会館）は、本町の中心市街地である智頭地区の避難所であり、高齢者をはじめ多世代の多くの住民が居住しているにも関わらず、場所によっては簡易ベッドが未整備の状態です。（智頭地区：2,709人、山形地区：845人、那岐地区：926人、土師地区：911人、富沢地区：623人、山郷地区：465人）</p> <p>今回の事業では、4施設で簡易ベッドを整備し（智頭町立智頭中学校 10台、智頭町勤労者体育センター 30台、智頭町総合センター20台、ひまわり会館20台）、町が設定している目標台数を目指し設備を整えます。</p>	
交付金事業に関する都道府県又は市町村の主要政策・施策とその目標	第7次智頭町総合計画（平成29年度～令和8年度） 第3部基本計画 6 環境整備 施策5 消防・救急 （以下、第7次智頭町総合計画より一部抜粋） 本町は迅速な救助が困難な山間地や山岳なども抱えています。もしもの時に迅速かつ適切な対応ができるよう体制整備を進め、災害時に必要な情報の共有、緊急時の連絡体制確立などの災害対策体制の確立を進めます。 ■災害対策体制の確立	

事業開始年度	令和4年度		事業終了（予定）年度		令和4年度	
事業期間の設定理由						
交付金事業の成果目標及び成果実績	成果目標	成果指標			評価年度	令和4年度
	避難所運営職員の満足度90%	満足度：やや満足以上の回答をした者：回答者数×100	成果実績	%	75	
			目標値	%	90	
			達成度	%	83	
	評価年度の設定理由					
	事業完了後速やかに評価することにより事業改善を図るため					
	交付金事業の定性的な成果及び評価等					
<p>本事業による簡易ベッドの整備により、多くのお年寄りが避難する各施設の受け入れ体制が改善しました。今まで避難所としての利用ができなかった部屋も、避難者の寝る場所として確保できるようになったこと等が喜びの声として得られました。その一方で、女性や力が弱い人には組み立てが難しいのではという意見、ベッドの幅に関して「コンパクトであるのは良いが少し狭い」という意見があり目標値を満たしませんでした。次年度以降については、こうした意見もふまえて交付金事業・施設整備を進めていきます。</p>						
評価に係る第三者機関等の活用の有無						
無						
交付金事業の活動指標及び活動実績	活動指標		単位	令和4年度	年度	年度
	簡易ベッドの設置台数	活動実績	台数	80		
		活動見込	台数	80		
		達成度	%	100		
交付金事業の総事業費等	令和4年度	年度	年度	備考		
総事業費	598,400					
交付金充当額	598,400					
うち文部科学省分						
うち経済産業省分	598,400					
交付金事業の契約の概要						
契約の目的		契約の方法		契約の相手方		契約金額
防災備品整備		随意契約（少額）		株式会社 昭栄商会 （静岡県浜松市東区植松町）		598,400
交付金事業の担当課室	智頭町役場 企画課					
交付金事業の評価課室	智頭町役場 企画課					